

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 4

平成30年6月5日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	JAいずもぶどう部会が出荷総会を開催！！ ～目標達成に向けて取り組みを確認～
-----	---

(ダイジェスト)

JAいずもぶどう部会は、5月8日、平成30年産ぶどう出荷総会を開催し、「やればできるぞ反収1,300kg」、「一致団結 税別単価1,300円/kg」、「みんなで目指そう 赤秀比率90%」、「毎日くだもの200gで健康生活」の4つの目標を掲げ、生産者・市場・関係機関が一丸となって取り組んでいくことを確認しました。

JAいずもぶどう部会は、5月8日、本年産のぶどう出荷総会を開催し、部会員、関係者約300名が出席しました。

昨年度は、部会目標であった単価1,300円/kg(税込み)を達成しましたが、今年度はさらに目標を高め、税別単価1,300円/kgをはじめとする、4つの目標を掲げ、取り組んでいくこととなりました。

園山部会長は「今年は重油の高騰や、例年にない低温・大雪があり、栽培環境は厳しい年であった。このような中、今年の部会目標は(上記の)4つを掲げた。達成に向け一人ひとりが努力してもらいたい。デラウェア出荷量1100t、シャインマスカットの販売金額3億円を目指し頑張ろう！」と部会員に呼びかけました。

安定的な売り場の確保を図るために、「島根ぶどうパートナー市場」と位置付けている、市場関係者からは、「現在の出荷量は昨年の約6割と非常に少ない。島根のデラウェアを待っているお客さんは多い。可能な限り早い出荷を期待している。」と要望がありました。

また、生産者代表として青年部の伊藤部長(H22年就農)からは「自分は就農して8年目であるが、当初は自然相手に非常に苦労した。産地の先輩農家が頑張っておられる姿はとても励みになる。2月には豪雪で被害も出たが、部会の協力もあり、すぐ片付いて部会の力を感じた。就農当時と比べ単価も上向き。これからがんばる」と力強く決意表明がありました。

普及部としては、今後も、関係機関と連携しながら、部会の目標の達成や新規就農者の早期経営安定や改植等生産振興に向けた支援を継続していくこととしています。



園山部会部会長によるあいさつ



伊藤青年部部長による産地決意表明